

見る人が増えるといいな。。。あっ！今回は活動履歴はお休みです。

約1年過ごしてきて

来月11月で山形村に来て1年になります。
何もわからない村に、たった一人で来て楽しくやってきました。
次の1年も楽しくやっていきたいと思っています。
そして、お邪魔したり参加したりする中で、何となく
感じていること。
行事やイベントによって、若者や移住者の参加が少なかったり、
トキには、いなかったりするのを目にします。
合っているか、間違っているかはわかりませんが、
新旧住民で温度差があるように感じました。
もっともっとお互いに歩み寄りが必要なのかな～。とも思っています。
そして何かを期待したり、何かをあてにしたり、誰かがしてくれるのを待っていたり、何かを理由にしてやらなかったり、を感じることも。

自分一人では何も出来ないかもしれないけど、何もしなければ始まらない。だから、やらない後悔より、やる後悔を選んでやっていきます。

やってきたこと

最初は村の資料を読んだり、村で制作したドラマを観たり、
YCSを観たりしてきました。
そして、村中を車や歩きでグルグル回ったり、写真を撮ったり、
いきなりイベントを開催したり、各地区の総会に出たり、
一般質問を傍聴したり、議会の会議等に出たり、
飲み会に参加したり、消防団に入ったり、様々してきました。

普通の引っ越しではしないことを体験して、
少しでも地域に入れたかな。と今ではちょっとだけ思います。

協力隊の現在地 (仮)

「いま」、そして「これから」

— vol.3_2018.10 —

仲間が増えた

今月、ようやく一人仲間が増えました。
将来の蕎麦職人候補として、
村内のお蕎麦屋さんで修行がはじまります。
お互いの個性や特技を生かし、
相乗効果が出せるように、これからもガンバります。

次に向かうために

自分自身が持つ得意とするスキルで村に貢献できて、
必要としてくれる人がいるなら、
携帯電話のこと、パソコンのこと、ホームページのこと、SNSのこと、などなど
ITに関する様々な問題や疑問、質問に対応出来ればと考えています。
こちらも前回、「産業を興すことで、地域を興したい」と掲載しました。
それを実現するため、山形村で生活する上での生業として、いまは複業として、
村民の方を対象に有料にはなりますが、トレーニングセンターなどを活用して
今後、講座や講習、コンサルタントを実施していきたいと考えています。

何をしようか、するべきか

前回は掲載しましたが、交流と発信の拠点作り
コミュニティスペース作りを少しずつ実行しています。
そして、1年やってきて、自分が得意とするITスキルを
もっと使って、地域に村に貢献していこうと思います。
(携帯電話のアドバイスや講習会、webサイトの制作など)

坂野 岳人 (ばんの たけと)



新しい協力隊が仲間入り



なぜ地域おこし協力隊？

情報を発信したい、知ってもらいたい。
自分にできる事は少ないかもしれないけれど
もっと多くの人に村を知ってもらい、村の活性化をと思い
地域おこし協力隊になろうと思いました。



プロフィール

名前 見澤 愛 (みさわ まな)
年齢 24歳
出身地 埼玉県

なぜ山形村に？

初めは山形村が長野県のどこにあるかも知りませんでした。
山形村を知ったきっかけは、あるそば屋さんとの出会いです。
その店主の方はそばに対しての熱意が強く
また人との出会いを大切にしている方で、私もそんな人になりたいと思いました。
そのきっかけから山形村を知り実際に来てみると、人の優しさ、
美味しい水や食材、キレイな空や山、空気があるところだと思いました。
以前から農業をやりたいとも思っていたので
山形村は私にはとても合っていると思い、移住を考えました。
また、そば集落にもとても魅力を感じました。



目指す道

幼い頃から料理を作ること、食べることが好きでした。
高校生の時にアルバイトでお金をため、希望する専門学校に入りました。
将来お店を持ちたいと思っていたので専門学校では、
調理の知識と経営を学びました。
卒業後は都内のホテルに就職し、西洋料理の調理師として4年間働きました。
広く浅くではなく、一つのことを極めたいという思いから
協力隊に応募しました。好きなそばで仕事をしたい、
そば職人になろうと思っています！

3年後は？

地域おこし協力隊は最長3年です。
3年後すぐに自分のお店を持てるとは思ってはいませんが、
いつか自分のお店を持ちたいと考えています。
そのためにまずはそば職人として自信が持てるようになり
一人前に認められるように頑張ります。